

STEP 9. 労働時間から支給額を計算する

支給額は「労働時間」×「時給」で計算しますが、この表の労働時間は時刻形式になっているので、このままだとシリアル値で計算されます。

「8:00」のシリアル値は「8/24」なので、この値を10進の時間を表す数値に変換するにはシリアル値に「24」をかければよいですね。

1. 労働時間を10進の数値に変換しましょう

	E	F	G	H	I	J
1				時給		
2				1000		
3						
4	日付	入社時間	退社時間	休憩	労働時間	支給額
5	2022/3/1 火	9:00	18:00	1	8:00	=F5*24
6	2022/3/2 水					
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14	2022/3/10 木					
15	2022/3/11 金					
16	2022/3/12 土					
17						

1 セル「G5」に「=F5*24」と入力します。

2 「Enter」キーを押します。

=F5*24
時刻形式（シリアル値）を10進の時間を表す数値に変換します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	2022	年						時給		
2	3	月						1000		
3										
4	日付		入社時間	退社時間	休憩	労働時間		支給額		
5	2022/3/1	火	9:00	18:00	1	8:00	0:00			
6	2022/3/2	水								
7	2022/3/3	木								
8	2022/3/4	金								
9	2022/3/5	土								
10	2022/3/6	日								
11	2022/3/7	月								
12	2022/3/8	火								
13	2022/3/9	水								
14	2022/3/10	木								
15	2022/3/11	金								
16	2022/3/12	土								

計算結果が時刻の形式で表示されてしまいました。

練習問題

- 図のようにセル「G5」の表示形式を「標準」に変更しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	2022	年						時給		
2	3	月						1000		
3										
4	日付		出社時間	退社時間	休憩	労働時間		支給額		
5	2022/3/1	火	9:00	18:00	1	8:00	8			
6	2022/3/2	水								
7	2022/3/3	木								
8	2022/3/4	金								
9	2022/3/5	土								
10	2022/3/6	日								
11	2022/3/7	月								
12	2022/3/8	火								
13	2022/3/9	水								
14	2022/3/10	木								
15	2022/3/11	金								
16	2022/3/12	土								
17	2022/3/13	日								
18	2022/3/14	月								
19	2022/3/15	火								
20	2022/3/16	水								

2. 支給額を計算しましょう

1 セル「H5」に「=G5*\$H\$2」と入力します。

	E	F	G	H	I	J
1				時給		
2				1000		
3						
4	日付	出社時間	退社時間	休憩	労働時間	支給額
5	2022/3/1	火	9:00	18:00	1	8:00
6	2022/3/2	水				
7	2022/3/3	木				
8	2022/3/4	金				
9	2022/3/5	土				
10	2022/3/6	日				
11	2022/3/7	月				
12	2022/3/8	火				
13	2022/3/9	水				
14	2022/3/10	木				
15	2022/3/11	金				
16	2022/3/12	土				
17	2022/3/13	日				
18	2022/3/14	月				

=G5*\$H\$2

セル「H2」はコピーしてもアドレスが変わらないように絶対参照にしましょう。

2 「Enter」キーを押します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	2022	年						時給	
2		3	月					1000	
3									
4	日付		入社時間	退社時間	休憩	労働時間		支給額	
5	2022/3/1	火	9:00	18:00	1	8:00	8	8000	
6	2022/3/2	水							
7	2022/3/3	木							
8	2022/3/4	金							
9	2022/3/5	土							
10	2022/3/6	日							
11	2022/3/7	月							
12	2022/3/8	火							
13	2022/3/9	水							
14	2022/3/10	木							
15	2022/3/11	金							
16	2022/3/12	土							
17	2022/3/13	日							
18	2022/3/14	月							

支給額が計算されました。

この例ではセル「G5」で労働時間を 10 進の数値に変換しましたが、次のように直接計算してもかまいません。

=F5*24*\$H\$2

練習問題

- 図のようにセル「F5~H5」を 35 行目までコピーしましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	2022	年						時給		
2		3	月					1000		
3										
4	日付		入社時間	退社時間	休憩	労働時間		支給額		
5	2022/3/1	火	9:00	18:00	1	8:00	8	8000		
6	2022/3/2	水				0:00	0	0		
7	2022/3/3	木				0:00	0	0		
8	2022/3/4	金				0:00	0	0		
9	2022/3/5	土				0:00	0	0		
10	2022/3/6	日				0:00	0	0		
11	2022/3/7	月				0:00	0	0		
12	2022/3/8	火				0:00	0	0		
13	2022/3/9	水				0:00	0	0		
14	2022/3/10	木				0:00	0	0		
15	2022/3/11	金				0:00	0	0		
16	2022/3/12	土				0:00	0	0		
17	2022/3/13	日				0:00	0	0		
18	2022/3/14	月				0:00	0	0		
19	2022/3/15	火				0:00	0	0		
20	2022/3/16	水				0:00	0	0		

練習問題

- 図のように「出勤時間」「退社時間」「休憩」を入力しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	2022	年						時給		
2	3	月						1000		
3										
4	日付		出勤時間	退社時間	休憩	労働時間		支給額		
5	2022/3/1	火	9:00	18:00	1	8:00	8	8000		
6	2022/3/2	水	9:00	18:00	1	8:00	8	8000		
7	2022/3/3	木	10:00	17:00	1	6:00	6	6000		
8	2022/3/4	金	10:00	18:00	1.5	6:30	6.5	6500		
9	2022/3/5	土	9:30	17:00	1	6:30	6.5	6500		
10	2022/3/6	日	9:30	17:00	1	6:30	6.5	6500		
11	2022/3/7	月				0:00	0	0		
12	2022/3/8	火				0:00	0	0		
13	2022/3/9	水				0:00	0	0		
14	2022/3/10	木				0:00	0	0		
15	2022/3/11	金				0:00	0	0		
16	2022/3/12	土				0:00	0	0		
17	2022/3/13	日				0:00	0	0		
18	2022/3/14	月				0:00	0	0		
19	2022/3/15	火				0:00	0	0		
20	2022/3/16	水				0:00	0	0		

- 図のようにオートサムで各列 5~35 行の合計を求めましょう。

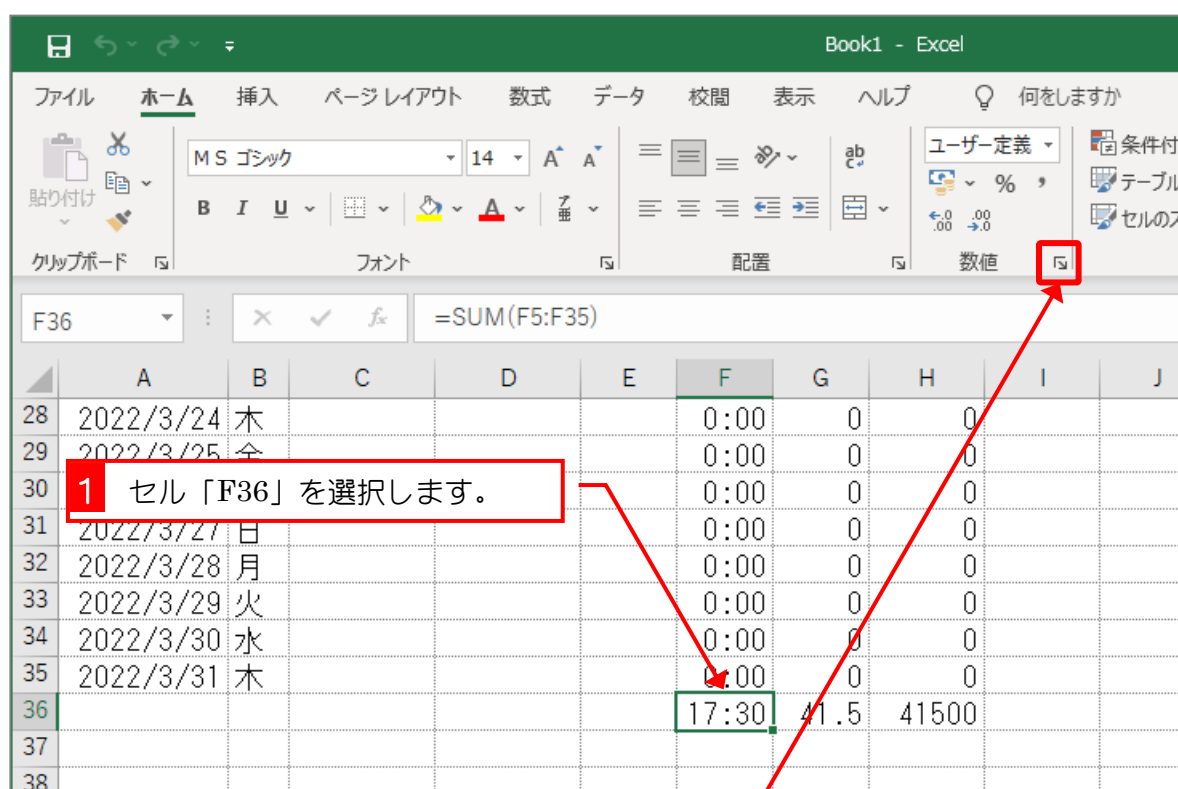
F36		=SUM(F5:F35)									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
22	2022/3/18	金				0:00	0	0			
23	2022/3/19	土				0:00	0	0			
24	2022/3/20	日				0:00	0	0			
25	2022/3/21	月				0:00	0	0			
26	2022/3/22	火				0:00	0	0			
27	2022/3/23	水				0:00	0	0			
28	2022/3/24	木				0:00	0	0			
29	2022/3/25	金				0:00	0	0			
30	2022/3/26	土				0:00	0	0			
31	2022/3/27	日				0:00	0	0			
32	2022/3/28	月				0:00	0	0			
33	2022/3/29	火				0:00	0	0			
34	2022/3/30	水				0:00	0	0			
35	2022/3/31	木				0:00	0	0			
36						17:30	41.5	41500			
37											
38											
39											

STEP 10. 24 時間を超える時刻の表示

セル「F36」の労働時間の合計は「41：30」と表示するはずなのに「17：30」と表示されています。時刻はシリアル値の小数部分で表現されるため1を超えたシリアル値は日付として処理されます。

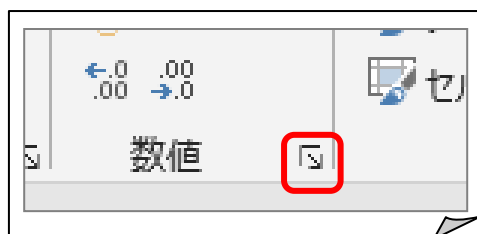
しかし、セルの表示形式を細工すれば 24 時間を超える時刻を表示することができます。

1. 24 時間を超える時間を表示しましょう



1 セル「F36」を選択します。

2 「数値」の をクリックします。



セルの書式設定

表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 保護

分類(C):

標準
数値
通貨
会計
日付
時刻
パーセンテージ
分数
指数
文字列
その他
ユーザー定義

サンプル
41:30

種類(L):
[h]:mm
m/d/yy
d-mmm-yy
d-mmm
mmm-yy
h:mm AM/PM
h:mm:ss AM/PM
h:mm
h:mm:ss
h"時"mm"分"
h"時"mm"分"ss"秒"
yyyy/m/d h:mm
mm:ss

削除(D)

基になる組み込みの表示形式を選択し、新しい表示形式を入力してください。

3 「ユーザー定義」をクリックします。

4 種類を「[h]:mm」に変更します。

[h]:mm

5 「OK」をクリックします。

OK キャンセル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
28	2022/3/24	木				0:00	0	0		
29	2022/3/25	金				0:00	0	0		
30	2022/3/26	土				0:00				
31	2022/3/27	日				0:00				
32	2022/3/28	月				0:00				
33	2022/3/29	火				0:00				
34	2022/3/30	水				0:00				
35	2022/3/31	木				0:00	0	0		
36						41:30	41.5	41500		
37										
38										
39										
40										
41										
42										

「41:30」と表示されました。

ポイント

[h]	24 時間を超える時間の合計を表示します。
[mm]	60 分を超える分の合計を表示します。
[ss]	60 秒を超える秒の合計を表示します。

STEP 1 1. 万年カレンダーを作る

1. シートを用意しましょう

	A	B	C	D	E	F	G
1	2022	年					
2		2	月				
3							
4	指定の月の1日の日付						
5	指定の月の1日の曜日を表す数字						
6	カレンダーの最初の日曜日の日付						
7							
8	日	月	火	水	木	金	土
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

1 新しいシートを追加し、シートのフォントを「MSゴシック」フォントサイズを「14」にします。

2 データを入力します。

3 A列～G列の列幅を「11.50 (97ピクセル)」に変更します。

2. セル「E4」にDATE関数を使って、セル「A1」とセル「A2」で表した月の1日の日付を表示しましょう

	D	E	F	G
1	2022	年		
2		2	月	
3				
4	指定の月の1日の日付			
5	指定の月の1日の曜日を表す数字			
6	カレンダーの最初の日曜日の日付			
7				
8	日	月	火	水
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

1 セル「E4」に「=D」と入力します。

2 「DATE」が選択されているのを確認して、「Tab」キーを押します。

関数リスト: DATE, DATEVALUE, DAVERAGE, DAY, DAYS, DAYS360, DB, DCOUNT, DCOUNTA, DDB, DEC2BIN

	A	B	C	D	E	G
1	2022	年				
2		2	月			
3						
4			指定の月の1日の日付		=DATE(
5			指定の月の1日の曜日を表す数字		DATE(年,月,日)	
6			カレンダーの最初の日曜日の日付			
7						
8	日	月	火	水	木	金 土
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						

DATE 関数が
入力されま
した。

	A	B	C	D	E
1	2022	年			
2		2	月		
3					
4			指定の月の1日の日付		=DATE(A1,
5			指定の月の1日の曜日を表す数字		DATE(年,月,日)
6			カレンダーの最初の日曜日の日付		
7					
8	日	月	火	水	木 金 土
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

3 セル「A1」をクリックします。

4 「,」（カンマ）を入力します。

=DATE(A1,

E4

5 セル「A2」をクリックします。

6 「,」(カンマ)を入力します。

	A	B	C	D	E		
1	2022	年					
2	2	月					
3							
4	指定の月の1日の日付				=DATE(A1,A2,		
5	指定の月の1日の曜日を表す数字				DATE(年,月,日)		
6	カレンダーの最初の日曜日の日付						
7							
8	日	月	火	水	木	金	土
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							

=DATE(A1,A2,

E4 7 「1)」と入力します。

8 「Enter」キーを押します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	2022	年					
2	2	月					
3							
4	指定の月の1日の日付				=DATE(A1,A2,1)		
5	指定の月の1日の曜日を表す数字						
6	カレンダーの最初の日曜日の日付						
7							
8	日	月	火	水	木	金	土
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							

=DATE(A1,A2,1)

	A	B	C	D	E	G
1	2022	年				
2		2	月			
3						
4	指定の月の1日の日付				2022/2/1	
5	指定の月の1日の曜日を表す数字					
6	カレンダーの最初の日曜日の日付					
7						
8	日	月	火	水	木	金 土
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						

その月の最初の日付が表示されました。

3. セル「E5」にセル「E4」の日付の曜日を表す数字を求めましょう

	D	E	F	G
1				
2				
3				
4	指定の月の1日の日付			
5		2022/2/1		
6		=W		
7				
8	水			土
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				

1 セル「E4」に「=W」と入力します。

2 下向きの矢印キーを押して「WEEKDAY」を選択します。

3 「WEEKDAY」が選択されているのを確認して、「Tab」キーを押します。

- WEBSERVICE
- WEEKDAY
- WEEKNUM
- WEIBULL.DIST
- WORKDAY
- WORKDAY.INTL
- WEIBULL